

令和7年度病床機能報告における 非稼働病棟等の状況について

非稼働病棟等への対応について

令和7年度病床機能報告における非稼働病棟等の状況を確認

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※を有する医療機関を把握した場合には、以下の説明を求めること。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※ 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、病床機能を転換する理由について説明を求めること。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

- ・ 高度急性期又は急性期と報告した病棟のうち、急性期医療を全く提供していない病棟については、その妥当性を確認すること。

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能※1	病棟を稼働していない理由	今後の運用見直しに関する計画																															
岐阜	医療法人生友会 柳津病院	療養病棟 (15床)	休棟棟 再開予定	入院患者がいない。 職員の退職が続き、職員の人数不足のため。	人材確保のため職員の募集をかけておりますが、まだ人材確保の見通しが立っておりません。																															
岐阜	独立行政法人国立病院機構 長良医療センター	中央 3 階病棟 (24床)	休棟棟 廃止予定	これまで休止病床の活用について新たな診療機能を模索してきたが、医師採用の見込みが立たない等の理由により、令和7年9月に急性期の休止病床73床（中央3階病棟、中央6階病棟）を削減した。	現在の一般病床309床及び結核病床18床を活用し、急性期機能（肺がん患者等）を活かしつつ、他の医療機関で実施していない、結核、筋ジス・重心心といった慢性期機能をしっかりと担っていく。また、近隣急性期病院の充実度、緩和ケア医療のニーズなどを踏まえ、令和5年1月10日より開棟した緩和ケア病棟については、回復期系の機能を更に充実させる方針である。																															
		中央 6 階病棟 (49床)	休棟棟 廃止予定																																	
岐阜	岐阜赤十字病院	東 4 階病棟 (40床)	休棟棟 廃止予定	主に呼吸器内科、脳神経外科等の急性期病棟として稼働していたが、建物の老朽化に伴い、平成30年5月から非稼働としている。	今後も病床稼働率の向上が見込めないことから、令和7年度に休床中の40床のうち24床を削減した。残りの16床についても今年度をもって廃止を検討している。																															
岐阜	医療法人社団 誠広会 平野総合病院	東 3 階病棟 (29床)	休棟棟 再開予定	看護師不足に伴う、病棟体制の再構築の理由により、急性期一般病棟29床（東館 3 階病棟）を中止（休床）となっております。	病棟再開に向けての体制強化はまだ進んでいない。 （看護師の求人は継続中。）																															
岐阜	岐阜清流病院	西2階一般病棟 (55床)	休棟棟 再開予定	病棟を再稼働させるために必要な医師、看護師、看護補助者、理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士等の要員の確保が不十分であるため。	・現在休止している一般病床54床(西 2 階)について現在運用している一般病床59床(東3階)を、令和8年度中に西2階病棟の改修し、一般病床として54床を運用予定。東3階病棟を西2階病棟へ移動後に他の病棟を改修予定。改修後に療養病棟55床を7床減少し48床の療養病棟として東3階へ移動。 令和9年度中に、東4階病棟を急性期→回復期リハ病棟の48床として機能転換を予定。療養病棟等を削減することにより、看護師、看護補助者等を新設の回復期リハ病棟の要員に配置転換する予定。																															
					<table><tr><td></td><td>現行</td><td>改修後</td><td>医療機能転換</td></tr><tr><td>急性期一般病床 西 2 階</td><td>54 床休止</td><td>54 床</td><td>急性期一般病床</td></tr><tr><td>〃 東 3 階</td><td>59 床</td><td>48 床</td><td>療養病棟 48 床</td></tr><tr><td>〃 西 3 階</td><td>52 床</td><td>48 床</td><td>急性期一般病床</td></tr><tr><td>回復期リハ 西 4 階</td><td>56 床</td><td>48 床</td><td></td></tr><tr><td>地域包括ケア 西 5 階</td><td>60 床</td><td>48 床</td><td></td></tr><tr><td>療養病棟 東 4 階</td><td>55 床</td><td>48 床</td><td>回復期リハ 48 床</td></tr><tr><td>緩和ケア 6 階</td><td>27 床</td><td>27 床</td><td></td></tr><tr><td></td><td>363 床</td><td>321 床</td><td></td></tr></table>		現行	改修後	医療機能転換	急性期一般病床 西 2 階	54 床休止	54 床	急性期一般病床	〃 東 3 階	59 床	48 床	療養病棟 48 床	〃 西 3 階	52 床	48 床	急性期一般病床	回復期リハ 西 4 階	56 床	48 床		地域包括ケア 西 5 階	60 床	48 床		療養病棟 東 4 階	55 床	48 床	回復期リハ 48 床	緩和ケア 6 階	27 床	27 床
	現行	改修後	医療機能転換																																	
急性期一般病床 西 2 階	54 床休止	54 床	急性期一般病床																																	
〃 東 3 階	59 床	48 床	療養病棟 48 床																																	
〃 西 3 階	52 床	48 床	急性期一般病床																																	
回復期リハ 西 4 階	56 床	48 床																																		
地域包括ケア 西 5 階	60 床	48 床																																		
療養病棟 東 4 階	55 床	48 床	回復期リハ 48 床																																	
緩和ケア 6 階	27 床	27 床																																		
	363 床	321 床																																		

※1 令和 7 年 7 月 1 日時点

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

圏域	医療機関名	病棟名	医療機能※1	病棟を稼働していない理由	今後の運用見直しに関する計画
岐阜	朝日大学病院	6階北 (50床)	休棟棟 再開予定	・6階北については、病棟改修に伴い、一時的に非稼働としていたものである。 ・5階北については、元々消化器内科の病棟であったが、人的資源、機器備品等の整備が不十分のため、平成30年2月から非稼働の状況にある。	【病床再編に向け改修工事を実施した現在までの状況】 令和6年7月1日 7階南（回復期リハ病棟30床） ➡4階西（回復期リハ病棟42床） 令和6年9月2日 7階北（一般病床45床） ➡7階南（一般病床45床） 令和7年6月1日 6階南（地域包括ケア病棟34床） ➡7階北（地域包括ケア病棟34床） 令和7年7月1日 6階北（一般病床50床） ➡6階南（一般病床50床） 令和8年3月13日 6階南（一般病床50床） ➡6階北（一般病床50床） 令和8年4月1日 7階北（地域包括ケア病棟34床） ➡6階南（地域包括ケア病棟34床） 【今後の計画】 5階南病棟の7階北病棟への移転により、同5階フロアを改修、院内に点在中のリハビリ部門全体をまとめたリハビリテーション部を併設させる形で回復期リハビリテーション病棟を開設する。また、本館1階理学療法室及び作業療法室を5階病棟に機能集約する。
		5階北 (44床)	休棟棟 再開予定		
岐阜	羽島市民病院	1病棟2階 (27床)	休棟棟 廃止予定	緊急時の感染対策、災害対策等患者対応を必要とする場合に使用するため。	院内で定めた規模適正化の方針に沿って、可能な限り早期に返床の見込み。
岐阜	岐北厚生病院	北3階病棟 (24床)	休棟棟 廃止予定	令和3年度の新病院建築後に稼働させる予定としておりましたが、看護職員の不足等により稼働させることができず休床しておりました。	令和7年9月に急性期病床22床を削減し、残り2床を回復期病床へ機能転換しました。現在は、総病床を284床から262床へ減少し効率的に運用しております。

※1 令和7年7月1日時点

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

各医療機関の対応方針（資料3-2）の中で言及します。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

該当なし